

がん感染症疾病対策課感染症対策係
 担当 西田、阿部
 直通：092-643-3597
 内線：3386

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和4年第15週（令和4年4月11日～令和4年4月17日）

福岡県感染症情報センター

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	11	190	201	3,540
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2	19	16	374
侵襲性肺炎球菌感染症	2	20	16	300
梅毒	5	104	112	2,592

※新型コロナウイルス感染症の最新の発生状況等は別紙をご覧ください。

■ 定点把握疾患報告数

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
インフルエンザ	0	0.00	-	16	0.00
RSウイルス感染症	23	0.19	1.05	312	0.10
咽頭結膜熱	15	0.13	0.68	233	0.07
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	69	0.58	1.25	658	0.21
感染性胃腸炎	677	5.64	1.19	9,170	2.93
水痘	16	0.13	1.45	208	0.07
手足口病	1	0.01	0.20	213	0.07
伝染性紅斑	3	0.03	0.75	44	0.01
突発性発しん	84	0.70	1.15	918	0.29
ヘルパンギーナ	0	0.00	-	50	0.02
流行性耳下腺炎	6	0.05	3.00	54	0.02
急性出血性結膜炎	0	0.00	-	1	0.00
流行性角結膜炎	7	0.27	0.88	106	0.15
細菌性髄膜炎	0	0.00	-	7	0.01
無菌性髄膜炎	0	0.00	-	5	0.01
マイコプラズマ肺炎	0	0.00	0.00	7	0.01
クラミジア肺炎	0	0.00	-	2	0.00
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	-	-	-

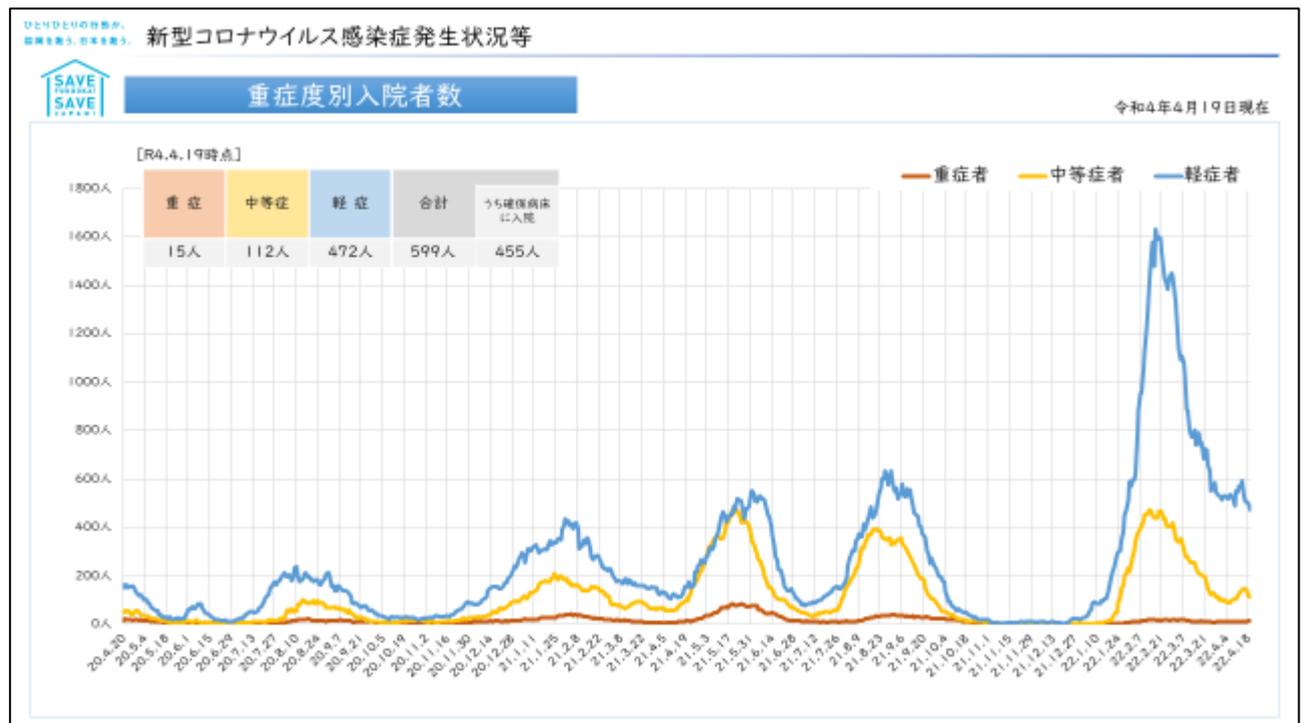
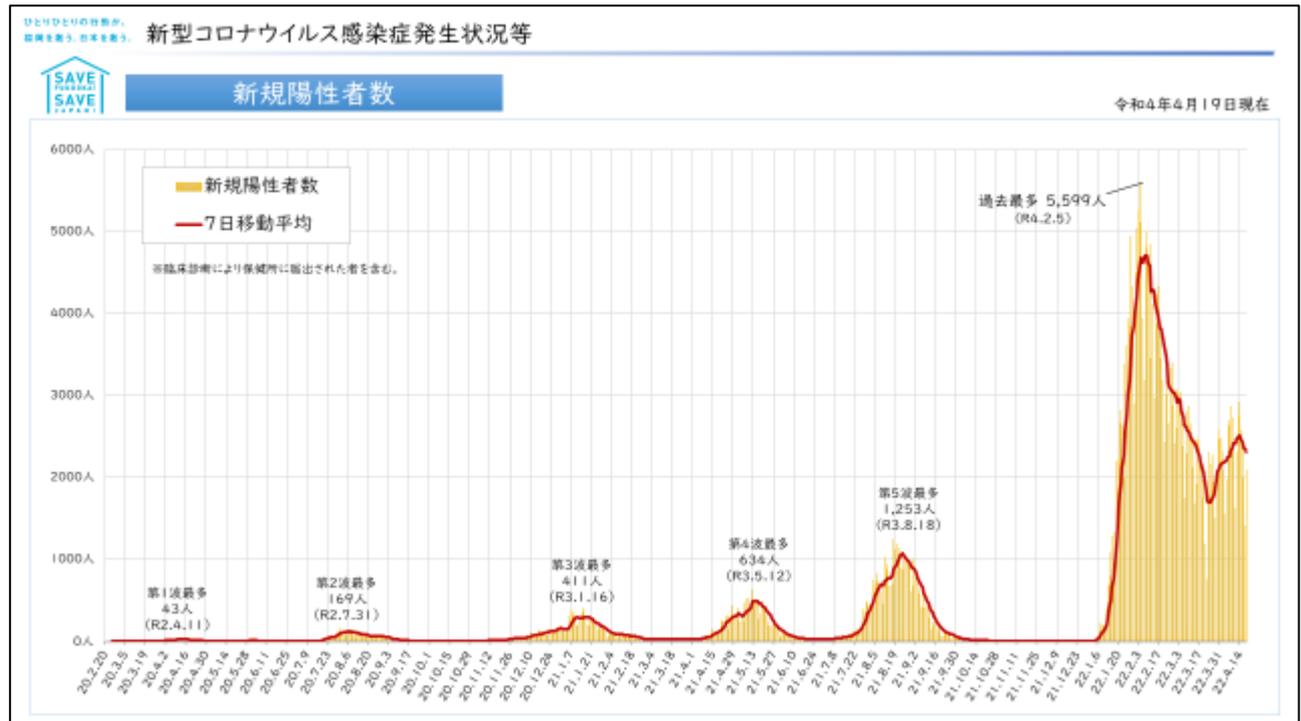
: 警報レベル

: 注意報レベル

■ コメント

- ・ 今週は、梅毒の報告が5件ありました。第15週までの累積報告数は104件で、例年の同時期と比べて多くなっています。梅毒は、性的な接触（他人の粘膜や皮膚と直接接触すること）などによって感染し、何年もかけて進行します。感染予防には、避妊具（コンドーム等）の正しい利用が大切です。陰部のしこりや発疹などの症状があらわれた場合は、早めに医療機関を受診し、検査や治療を受けましょう。感染がわかった場合は、パートナー等、感染の可能性がある方も一緒に検査を受けましょう。
- ・ 福岡県感染症情報ホームページ(http://www.fihes.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/)では、感染症発生情報、病原体検出情報などがご覧になれます。

〇県内における新型コロナウイルス感染症の発生状況等について



・福岡県では、下記のホームページにて随時、発生状況や感染予防策などの情報提供を行っています。

◇新型コロナウイルス感染症ポータルページ
<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/covid-19-portal.html>